

# 岐阜地区

## 1 岐阜県歴史資料館

(岐阜市夕陽ヶ丘4、TEL 058-263-6678)

岐阜県歴史資料館は、郷土の歴史や民俗、行政に関する資料を収集・整理・保存する、岐阜県の歴史資料館・公文書館として役割を持つ施設である。収蔵資料には織田信長の文書、飛騨郡代高山陣屋文書、歴史人口学の史料として世界的に注目される近世農村の宗門帳、岐阜県行政文書など貴重なものがある。

入館料：無料（閲覧希望者は、事前に電話・メールで申込みが必要）

休館日：土・日曜日、祝日、年末年始



## 2 岐阜県美術館

(岐阜市宇佐4-1-22、TEL 058-271-1313)

世界的に注目されるルドンコレクションをはじめ、郷土ゆかりの作家作品から国内外の名作や、現代美術の作品まで、約4000点を収蔵する。また、アートツアーやワークショップなど、充実した教育普及事業を多数開催している。

入館料：大人340円、大学生220円、高校生以下無料

休館日：月曜日（祝祭日の場合はその翌平日）

年末年始



## 3 岐阜大学教育学部附属 郷土博物館

(岐阜市柳戸1-1岐阜大学教育学部棟)

連絡先：教育学部事務部総務係 TEL 058-293-2203)

岐阜県師範学校に設置されていた郷土研究室を始まりとして、加納から長良、柳戸へと移されてきた。岐阜県内の考古資料、古文書資料等を収蔵し、研究者の閲覧に供している。

入館料：無料（閲覧等は、希望日の2週間前に申請書を提出し許可を受けること。詳細は郷土博物館HPを参照のこと）

休館日：土・日曜日、祝日、年末年始



## 4 岐阜市歴史博物館

(岐阜市大宮町2-18-1、TEL 058-265-0010)

岐阜市歴史博物館は、斎藤道三や織田信長の居城のあった金華山のふもとの岐阜公園内にある。岐阜市の歴史と伝統工芸を紹介する博物館として、昭和60（1985）年に開館した。平成17（2005）年、開館20年を機に常設展示のリニューアルを行い、体感・体験型の博物館に生まれ変わった。

入館料：高校生以上310円、小中学生150円

休館日：月曜日（祝日の場合は翌日）、祝日の翌日、年末年始



## 5 長良川うかいミュージアム

(岐阜市長良51-2、TEL 058-210-1555)

「長良川の鶺鴒」は、清流・長良川がもたらす自然の恵みと、1300年を超えて脈々と受け継がれてきた人々の営みとが生みだした文化資産である。その「長良川の鶺鴒」の価値を分かりやすく紹介するため通年営業を行い、開催時期の限られる“長良川の鶺鴒”について、オフシーズンにもその魅力を発信している。

入館料：大人500円、小人250円

休館日：10月15日まで無休、10月16日～4月30日  
火曜日(祝日の場合は翌平日)



## 6 名和昆虫博物館

(岐阜市大宮町2-18、TEL 058-263-0038)

ギフチョウの発見で知られる名和靖によって明治29(1896)年に名和昆虫研究所が設立され、その付属施設として大正8(1919)年に開館した。昆虫博物館としては、日本で最も古い歴史を持ち、文化財的価値のある建物の中で、昆虫たちの美しくも不思議な世界を体感することができる。昆虫全般にわたる啓蒙普及と、農作物の害虫駆除のための啓蒙普及につとめている。

入館料：大人600円、小人400円

休館日：水・木曜日(祝日の場合は開館、夏休み期間無休、12月～2月は火・水・木曜日休館)



## 7 岐阜城

(岐阜市金華山天守閣18、TEL 058-263-4853)

岐阜城は、かつて稲葉山城と称し、戦国時代には斎藤道三の居城でもあった。特に岐阜城の名を天下に示したのは、永禄10(1567)年、織田信長がこの城を攻略し、地名を「井口」から「岐阜」と改め、天下統一の本拠地としてからである。

現在の岐阜城は、昭和31(1956)年に復興されたもので、現存する城郭のうちでは、有数の高さ(標高329m)にあり、眼下に清流長良川が流れている。最上階からは、東には恵那山、木曾御岳山が、北には乗鞍、日本アルプスを望むことができる。また西には伊吹、養老、鈴鹿の山系が連なり、南には濃尾平野が開け、木曾の流れが悠然と伊勢湾に注いでいるさまを一望におさめることができる。城内には織田信長に関する展示がされている。

入館料：大人200円、小人100円

休館日：年中無休



## 8 三甲美術館 三甲(株)

(岐阜市長良福土山3535、TEL 058-295-3535)

三甲株式会社が収集した美術品を一般公開するため、昭和63(1988)年に開館した。沙羅双樹(ナツツバキ)の美術館として知られ、6月初旬から7月初旬には200本ほどが咲き乱れ、合わせて琵琶の演奏会なども催されるので、多くの人で賑わう。ルノワールやシャガール、梅原龍三郎などの著名作家の油絵や日本画、彫刻、陶磁器など、幅広く展示している。

入館料：1200円、高大生800円、小中生600円

休館日：火曜日(祝祭日の場合は翌日)、年末年始



## 9 みつばちの家

(岐阜市椿洞776-3、TEL 058-294-2002)

みつばちの家は、畜産センター内にあり、みつばちの不思議な生態を、見たり、感じたり、体験することができる施設である。

入館料：無料

休館日：月曜日、12月～2月



## 10 岐阜市科学館

(岐阜市本荘3456-41、TEL 058-272-1333)

子どもから大人まで楽しむことができる県内唯一の総合科学館である。プラネタリウムや天文台、動く展示や参加体験のできる展示を主体とし、自由に見て、聞いて、ためして、体験を通して学べる知的レジャー施設である。

入館料：大人310円、小人100円

プラネタリウム大人620円、小人200円

休館日：月曜日(祝日の場合は翌日)



## 11 大東化工謄写技術資料館

(岐阜市折立364-1、TEL 058-239-1333)

1970年代にコピー機が出現するまでの約100年間、軽印刷においては、ロウ原紙に鉄筆で文字を書き謄写版で印刷する方法が世界の主流をなしていた。美濃紙の産地ではロウ原紙の生産が盛んとなり、大東化工(株)においてもロウ原紙を生産していた。その事務室2階に謄写版印刷に関する資料が保存展示されている。軽印刷技術の変遷に伴い、これまで培った加工技術を活かして発展成長している大東化工(株)の姿もご覧いただくことができる。

入館料：無料(事前に予約が必要)

休館日：土・日曜日、(祝日は確認が必要)



## 12 北川家史料館

(岐阜市池ノ上町1-24、TEL 058-232-5050)

北川家は、島輪中の池ノ上地区にあり、長良川の水運を利用して島地区の農産物を商う商人であった。大正15(1926)年改築した居宅の2階に、昭和53(1978)年に展示場を設け、みそぎ祭りの資料や長良川流域の民具や農具、特に近世以降の池之上村の古文書、写真などを中心に展示している。

入館料：無料(事前に予約が必要)

休館日：年末年始



### 13 岐阜天文台

(岐阜市柳津町高桑西3-75、TEL 058-241-0055)

県内唯一の民間天文台として、国内外研究機関と連携した天文観測のほか、天文学の普及・啓蒙を目的として小中高校生や一般を対象とした観測会、観望会や天文教室、講演会を定期的で開催している。国内最大級の口径25cm屈折望遠鏡を設置し、隕石（現在24個）を展示している。

入館料：無料（天文教室は500円。幼児無料）

休館日：開館時間以外は要予約



### 14 原三溪記念室

(岐阜市柳津町下佐波西 1-15、TEL 058-270-1080)

原三溪は、下佐波村（現岐阜市柳津町）の豪農・青木家に生まれ、横浜の生糸商・原善三郎の孫娘屋寿と結婚して原家の家業を拡大し、実業家として成功を収めた。また、東洋古美術の蒐集家でもあり、同時代の芸術家支援など、文化芸術振興にも多大な貢献をした。「もえぎの里」2階にある原三溪記念室では、地元ゆかりの人物としてその業績を紹介する展示がされている。

入館料：無料

休館日：月曜日（祝日の場合翌日）、祝日の翌日、年末年始



### 15 岐阜かかみがはら航空宇宙博物館

(各務原市下切町5-1、TEL 058-386-8500)

国産の航空機や実験機、航空関連資料、さらに宇宙開発関連資料などを収集、展示すると共に体験的な学びの機会を提供する施設である。平成8（1996）年に「かかみがはら航空宇宙博物館」として開館し、各務原飛行場開設100年にあたる平成29年度に、リニューアルオープンした。現在は各務原市と岐阜県の共同所有、共同運営となり、名称も「岐阜かかみがはら航空宇宙博物館」に変更され、愛称は「空宙博」（そらはく）となった。戦時中の姿をとどめる旧陸軍三式戦闘機「飛燕」の実機や小惑星探査機「はやぶさ2」の実物大模型が展示されている。

入館料：大人800円、高校生500円、中学生以下無料

休館日：第1火曜日（祝日の場合翌平日）、年末年始



### 16 世界淡水魚園水族館アクア・トト ぎふ

(各務原市川島笠田町1453、TEL 0586-89-8200)

淡水の水族館としては世界最大級を誇る。「長良川の源流から河口まで」と「世界の淡水魚」をテーマに、水辺環境や魚類だけでなく、両生類、爬虫類、ほ乳類、鳥類、水生植物など約250種類、22,000の生き物を総合的に展示している。大迫力のメコンオオナマズやピラルクーなどのほか、かわいらしいコツメカワウソも人気。アシカショーやカピバラのふれあい体験は毎日開催している。

入館料：大人1540円、小人770円

休館日：無休、年数回河川環境園の休園に伴い休館



## 17 内藤記念くすり博物館 エーザイ(株)

(各務原市川島竹早町1、TEL 0586-89-2101)

エーザイ創業者が開設した薬の総合博物館。医学薬学の歴史資料を展示するほか、700種の薬草・薬木を栽培、公開している。収集資料は約65,000点、図書は約62,000点に及ぶ。博物館では年1回企画展を開催するとともに、常設展示室では薬屋の店先や製薬道具、『解体新書』等の貴重な資料・文献を見ることができる。

入館料：無料

休館日：日・月曜日、年末年始



## 18 各務原市歴史民俗資料館

(各務原市那加門前町3-1-3、TEL 058-383-1361)

昭和53(1978)年に鵜沼三ツ池町の旧桜井家に開設されたが、平成18(2006)年には川島ふるさと資料館に、平成20年に中山道鵜沼宿町屋館に移転したが、平成30年からは各務原市中央図書館3階に移転した。各務原市の歴史的文化遺産の収集、調査や研究などを行い、展示ならびに保存、資料調査報告書の作成などを行っている。

入館料：無料

休館日：月曜日(祝祭日の場合は翌日)、祝日の翌日、年末年始



## 19 中山道鵜沼宿町屋館

(各務原市鵜沼西町1-116-3、TEL 058-379-5055)

各務原市が武藤家から建物の寄附を受け、修復工事を経て、平成20(2008)年より「中山道鵜沼宿町屋館」として公開している。屋敷は、町屋の特色をよく伝えていることから、登録有形文化財、また景観重要建造物となっており、内部には鵜沼宿に関わる歴史資料が展示されている。

さらに、宿場内には濃尾震災で倒壊した脇本陣坂井家が復元され、公開されている。坂井家には芭蕉が宿泊したとされ、門近くには芭蕉の句碑が建てられている。

入館料：無料

休館日：月曜日(祝祭日の場合は翌日)、祝日の翌日、年末年始



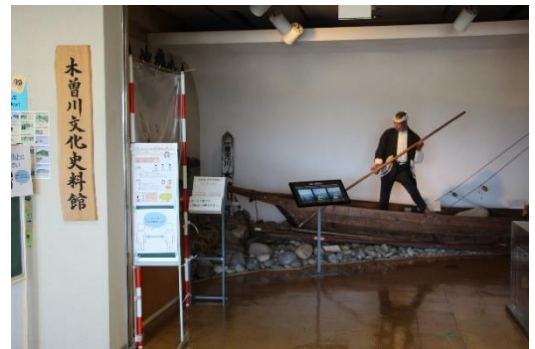
## 20 各務原市木曾川文化史料館

(各務原市川島松倉町1951-4、TEL 0586-89-6055)

昭和58(1983)年「川島ふるさと史料館」として開館し、平成16(2004)年各務原市と川島町の合併により「各務原市川島ふるさと史料館」に、さらに平成18年には「各務原市歴史民俗資料館」に、平成23年には「木曾川文化史料館」と名称を変更し、現在に至っている。川島地区を中心とした木曾川流域のはるか遠い時代からの生い立ち、先人の生活の歴史、自然の移り変わりなどを、市民から寄せられた資料をもとに紹介している。

入館料：無料

休館日：月曜日(祝祭日の場合は翌日)、祝日の翌日、年末年始



## 21 羽島市歴史民俗資料館・羽島市映画資料館

(羽島市竹鼻町2624-1、TEL 058-391-2234)

平成8(1996)年、旧竹鼻朝日館(映画館)の跡地にオープンした。「歴史民俗資料館」には、円空、織物、輪中などの郷土資料を所蔵展示している。併設された「映画資料館」では15万点以上もの映画資料(新旧映画ポスター・大型映写機8台など)を所蔵・常時展示している。

入館料:高校生以上300円、中学生以下無料

休館日:月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始



## 22 中観音堂・羽島円空資料館

(羽島市上中町中526、TEL 058-398-6264)

「円空」は、江戸時代(1632~1695年)の修行僧で、洪水で非業の死を遂げた母の供養のため出家して全国を行脚する放浪の旅に出て、その生涯に12万体の仏像を残した。円空上人生誕の地とされる羽島市の中では、この施設に一番多く円空仏が安置されており、本尊の「十一面観音像」(222cm)をはじめ17体の円空仏(県重要文化財)を間近に見ることができる。また、隣接して「円空上人産湯の井戸」がある。

入館料:大人300円、小中学生無料

休館日:月曜日



## 23 不二竹鼻町屋ギャラリー

(羽島市竹鼻町2765、TEL 058-393-0951)

大正3(1914)年築の町屋風居宅を建て替え、平成30(2018)年に開館した。市内企業から寄贈された、熊谷守一、前田青邨などの作家作品を中心に、絵画、彫刻、陶磁器作品を所蔵している。テーマに沿った所蔵品展のほか特別展の企画展示も行っている。

入館料:300円、中学生以下無料

休館日:月曜日(祝祭日の場合は翌日)、年末年始  
展覧会準備期間



## 24 山県市歴史民俗資料館

(山県市大門850-65、TEL 0581-36-3339)

山県市立図書館に併設され、遺跡からの出土品、大桑城跡採集遺物、十六拍子・龍廻しの龍などや山県市に残る民俗資料を展示している。また、同市笹賀の旧北武芸小学校の校舎2階に分室「みやまジョイフル倶楽部」があり、民俗資料を展示している。

入館料:無料(分館も問合せ先は本館へ)

休館日:月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始、臨時休館日あり



## 25 山県市文化の里 古田紹欽記念館

(山県市洞田127-131、TEL 0581-36-1023)

山県郡伊自良村大森（現在の山県市大森）出身で、仏教、禅を思想面から研究した仏教学者古田紹欽の生い立ちや交流関係の展示、また著作を始め関連図書の貸し出し、研究資料の閲覧などを行うとともに、山県市や日本の文化に関する展示も行っている。

入館料：無料

休館日：月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始、特別整理期間



## 26 故玩館

(瑞穂市十七条1116-1、TEL 058-328-2875)

中山道美江寺宿の西の見付に建つ築120年の古民家を改装して平成21(2009)年に開館した。館主が収集した古面、古陶磁、漆器、能楽関係資料、文人書画、俳諧美濃派資料、別府細工(蟬型鋳物細工)、高札などを展示している。

入館料：無料

休館日：完全予約制



## 27 さくら資料館

(本巣市根尾板所1063、TEL 0581-38-2410、

閉館中間合せ先 根尾公民館 TEL 0581-38-2515)

国指定天然記念物「根尾谷淡墨ザクラ」を中心とする資料館である。同じ敷地内にある「淡墨ザクラ」の樹勢回復のために行った根接ぎの様子や、その保護に関わった作家宇野千代さんの愛用品などが展示されている。国指定特別天然記念物の菊花石(地域指定)も数十点展示されている。

入館料: : 大人300円、高校生以下100円

休館日: 9月~3月末、5月連休明け~7月夏休み

(3月下旬~GWと夏休み期間中の土日祝日のみ開館)



## 28 根尾谷地震断層観察館

(本巣市根尾水鳥512、TEL 0581-38-3560)

明治24(1981)年に発生したマグニチュード8.0の「濃尾地震」の震源地であった旧根尾村にある「根尾谷断層」は国の特別天然記念物に指定されている。日本で確認できる最古の地震断層として記録されており、「根尾谷地震断層観察館」には、当時の資料、写真や記録が保存展示されている。断層による地層のズレを直接観察できる世界で初の施設である。

入館料: 大人500円、高校生以下250円

休館日: 月曜日(祝日の場合翌日)



## 29 織部展示館 (道の駅「織部の里もとす」)

(本巢市山口676、TEL 0581-34-4755)

本巢市山口は安土・桃山時代に茶人、武人として活躍した古田織部の生誕地である。地元の道の駅「織部の里もとす」にある織部展示館では、古田織部という人物を様々な角度から紹介している。また、織部焼、織部風の茶室及び茶道などについて知ることができる施設である。

入館料：無料

休館日：水曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始



## 30 古墳と柿の館

(本巢市上保1-1-1 富有柿の里、TEL 058-323-9333)

平成10(1998)年にオープンした館では、船来山古墳群の出土品と併せ旧糸貫町の歴史や柿に関する資料を数多く展示している。1階は旧糸貫町の歴史資料とくに船来山古墳群から発掘された須恵器、勾玉、雁木玉や復元された石室(154号墳)などが展示されている。また、定期的に赤彩古墳の舟来山272号墳の石室の公開が行われている。2階の柿資料室では、富有柿が本巢市の特産物になるまでの経緯や柿に関する資料の数々が展示されている。

入館料：大人300円、子供100円

休館日：月曜日(祝日の場合その翌日)、年末年始



## 31 本巢市民文化ホール

(本巢市軽海718、TEL 058-323-5373)

本巢市民文化ホールは真桑文楽を公演するための施設となっており、その2階に真桑文楽に関する資料を展示している。

入館料：無料

休館日：月曜日(祝日の場合その翌日)、年末年始



## 32 本巢民俗資料館

(本巢市文殊324、問合せ先

本巢市教育委員会 社会教育課 TEL 058-323-7764)

旧徳山村(現揖斐川郡揖斐川町)から移築した神足家の古民家に、江戸時代から昭和初期までの民具や農耕道具、山村の生産用具などが展示されている。入館希望者は事前に教育委員会まで申し込みが必要である。

入館料：無料

休館日：土・日・祝祭日





### 33 糸貫民俗資料館

(本巢市七五三676-1、問合せ先

本巢市教育委員会 社会教育課 TEL 058-323-7764)  
旧土貴野小学校特別教室を改築して、本巢市の歴史や文化、民俗に関する資料を展示している。入館希望者は事前に教育委員会まで申し込みが必要である。

入館料：無料

休館日：土・日・祝祭日



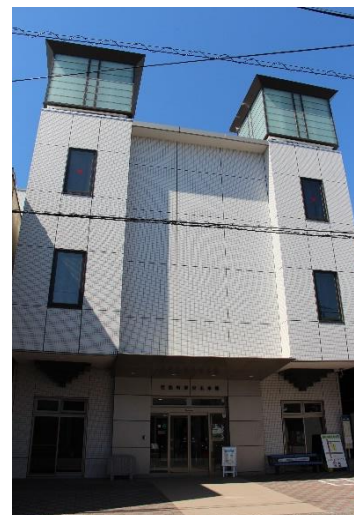
### 34 笠松町歴史未来館

(羽島郡笠松町下本町87、TEL 058-388-0161)

平成27(2015)年に「笠松町歴史民俗資料館」より「笠松町歴史未来館」と名称を改め、装いを新たに開館した。笠松町の歴史や文化を紹介する展示に加え、企業や学校の協力を得て、航空宇宙産業などの未来志向の資料も展示している。笠松町の歴史的文化を継承する資料の収集保存、調査研究のほか、企画展を開催している。

入館料：無料

休館日：月曜日（祝祭日の場合は翌日）、年末年始



### 35 岐南町歴史民俗資料館

(羽島郡岐南町平成7-38、TEL 058-247-7737)

旧宮川家住宅と資料館の2棟からなる。「旧宮川家」は、明治時代の代表的な茅葺き農家で、県重要有形民俗文化財に指定され、家屋をはじめ、風呂、わらうち石、機織り機等の諸道具が保存されている。資料館には、稲作や養蚕に関する農機具や、明治以降の生活用具を常設展示している。収蔵品としては、有形民俗資料3161点、古文書資料2515点などがある。

入館料：無料

休館日：月曜日（祝祭日の場合は翌日）、祝日の翌日（土、日、休日の場合は翌日）、毎月最終金曜日（祝日の場合は前日）、年末年始



#### コラム①

#### 岐阜県の指定文化財数

(令和2年12月1日現在)

国指定文化財	259件	
（うち国宝）	7件	永保寺開山堂、永保寺観音堂、安国寺経蔵、金銅獅子唐草文鉢、絹本著色五大尊像、太刀（銘康次）、入唐求法巡礼行記（円仁記/兼胤筆）
（うち特別天然記念物）	3件	石徹白のスギ、根尾谷の菊花石、根尾谷断層
県指定文化財	934件	
市町村指定文化財	5,666件	(市町村指定は令和2年5月1日現在)